

過去の研修情報

H19年度(2007年度)

		場所	参加者
<p>第4回 京都府地域リハビリテーション研修会 「急性期・回復期・維持期のリハビリテーション連携」</p>	<p>基調講演「急性期・回復期・維持期のリハビリテーション連携ーリハ専門医からの提言ー」 第二岡本総合病院リハビリテーション部長 高橋 守正 先生</p> <p>パネルディスカッション 「急性期リハビリテーションの現状と回復期・維持期との連携」 京都府立与謝の海病院 松本 浩一 「回復期リハビリテーション病棟の現状と急性期・維持期との連携ー回復期リハビリ病棟開設1年を迎えてー」 市立福知山市民病院 田和 靖成 「訪問看護ステーションにおけるリハビリテーションの現状」 宮津訪問看護ステーション 伏木 マサエ 「中丹西地域における維持期リハビリテーションの現状と課題について」 訪問看護ステーションいすず 神内 昭次</p>	<p>中丹勤労者福祉会館</p>	<p>77名</p>
<p>第5回 京都府地域リハビリテーション研修会</p>	<p>講演「脳梗塞治療の現状～地域連携への期待～」 公立山城病院 神経内科 部長 狐野 一葉</p> <p>シンポジウム「脳卒中リハビリテーション～在宅へむけたアプローチ～」 「当院での急性期～回復期リハビリテーション～在宅にむけた取組～」 第二岡本総合病院 田後 裕之 「当院での回復期～維持期リハビリテーション～在宅にむけた取組～」 学研都市病院 石原みさ子 「在宅における訪問リハビリテーションの取組～脳卒中患者の利用状況から～」 訪問看護ステーションいすずみ 新村 隆盛 「在宅におけるリハビリテーションアプローチ～訪問看護師の立場から～」 精華町訪問看護ステーション 菊池 純子</p>	<p>山城総合福祉センター アスピアやましろ</p>	<p>94名</p>
<p>第3回 京都府リハビリテーション専門職研修会 「摂食・嚥下のリハビリテーションを考える」</p>	<p>特別講演「嚥下障害の診断・評価とリハビリテーション」 京都第一赤十字病院リハビリテーション部 副部長 巨島 文子</p> <p>教育講演「摂食・嚥下リハビリテーションのチームアプローチと連携 看護師の役割とセラピストに求めること」 京都府立医科大学附属病院 安江 友世</p> <p>実践報告「食べることの障害に対するアプローチー姿勢・環境・認知面からの介入ー」 京都民医連第二中央病院 生方 志浦 「老人保健施設における摂食・嚥下リハビリテーションのアプローチ」 介護老人保健施設 ハーモニーこが 岡本 真由子</p>	<p>京都府立医科大学 臨床講義棟 北臨床講義室</p>	<p>129名</p>
<p>第3回 京都府リハビリテーション管理者研修会 「医療機関の情報公開とこれからの地域連携」</p>	<p>特別講演「地域連携パスーこれからの地域連携を考えるー」 国際医療福祉大学大学院教授 武藤 正樹</p> <p>報告①「京都府の医療機関の情報公開システムの紹介」 京都府保健福祉部健康・医療総括室 健康増進室 古川 浩気</p> <p>報告②「大腿骨頸部骨折の地域連携パスー京都府医師会における取り組みの紹介」 京都府リハビリテーション支援センター 武澤 信夫</p>	<p>京都府立医科大学 附属図書館ホール</p>	<p>83名</p>